

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催 に向けた事前キャンプ誘致等の取組について

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けた事前キャンプ誘致等の取組について、以下のとおり報告する。

1 事前キャンプ誘致に向けた取組

- ① 永福体育館のビーチコートについては、平成30年6月に竣工及び国際規格の技術基準の認定を受け、7月に大会組織委員会へ事前キャンプ候補地としての登録を申請した。
12月より、大会組織委員会ホームページに掲載されることで全世界に向け、情報が公開される。
- ② 平成30年7月26日には、ドイツのバレーボール連盟のスポーツディレクターが来日し、ビーチコート及び区内ホテル等の視察を行った。
- ③ 都を通じて、アフリカ及び南米諸国にも情報提供を行ったほか、イタリアと事前キャンプについて協定を結んでいる早稲田大学の紹介を受け、イタリアバレーボール連盟への働きかけも行っている。
- ④ 今後は、平成31年(2019年)7月に「お台場」にて実施予定の「ワールドツアー日本大会」においても、各国に事前キャンプに来ていただけるように誘致に取り組んで行く。

2 都市ボランティアの都内区市町村からの推薦について

- ① 平成30年6月に東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会における都市ボランティアの要項が発表され、9月26日から募集が始まった。
- ② 応募枠3万人の内、5000人については、一般募集とは別に、各区市町村に推薦枠が確保され、杉並区には150名が割り当てられている。
- ③ 町会・自治会による防犯活動、消防団による防災活動、地域住民による環境・美化活動など、日頃より地域で活動を行っている方等で、希望する方を都市ボランティアとして推薦していく。

3 聖火リレーのルート及びセレブレーション*について

- ① 平成30年7月、東京都オリンピック・パラリンピック準備局より、東京2020オリンピック聖火リレーのルートの希望及びセレブレーションの会場候補地について調査があり、ルートとして青梅街道、会場候補地として桃井原っぱ公園での実施希望する旨の回答をした。

- ② 今後は、東京都聖火リレー実行委員会より、大会組織委員会へ、都内区市町村の聖火の巡回順案及びセレブレーション会場候補地が提出され、12月末を目途に決定される予定である。
また、聖火ランナーの選考基準についても、同時期に示される予定である。

※1日の終わりに最終ランナーの到着を祝う式典。（別紙参照）

4 区民懇談会委員の任期と今後の活動

- ① 平成28年9月より8回に渡り会合を重ねてきた区民懇談会であるが、委員の任期は2年間となっており、8月31日に更新を迎えた。
- ② 再委嘱にあたり、新たな公募は行わず、現委員の再任を基本として依頼を行った結果、再任18名、団体推薦による変更8名、辞退4名の回答があり、26名に委員の委嘱を依頼した。
- ③ 今後は、懇談会委員が立ち上げた実行委員会を中心に、「スポーツ」、「こども」、「地域活性」の3つの分野において、大会遺産（レガシー）の創出に向け具体的な取組を進めていく。

今後の活動	<p>スポーツ</p> <p>日時：10月20日（土）</p> <p>場所：和田堀公園野球場</p> <p>内容：クリケット大会の開催</p>	<p>こども</p> <p>日時：11月3日（土）、4日（日）</p> <p>場所：すぎなみフェスタ会場</p> <p>内容：オリパラソルの制作と体験</p>
-------	---	---

聖火リレー セレブレーション（リオ2016大会）

- 聖火の到着を祝うイベントで、毎日の聖火リレーの終わりに行うことが推奨されています。
 - 1日のリレーの最終到着地のセレブレーション会場では、自治体や聖火リレースポンサー各社がそれぞれ演出を行い、最後に聖火ランナーが到着し聖火皿に点火して1日のリレーが終了となります。
- ※あくまでも聖火が中心の無料イベントでなくてはならないとされています。

リオ大会でのセレブレーションの様子



セレブレーション

■プログラムイメージ

- オープニングプログラム：実行委員会やプレゼンティングパートナー各社のステージなどのプログラムを実施する。
- 到着セレモニー：セレブレーションのメインプログラムとして位置づけ、聖火入場から聖火皿への点火、代表挨拶までをパッケージ化する。

セレブレーション・進行イメージ

オープニングプログラム

※計30分～60分程度を想定

実行委員会提供プログラム

プレゼンティングパートナーA・プログラム

プレゼンティングパートナーB・プログラム

プレゼンティングパートナーC・プログラム

聖火ランナー到着

到着セレモニー

※計20分～30分程度を想定

聖火到着

聖火ランナーのトーチから聖火皿へ点火

実行委員会代表（首長）挨拶

フォトセッション



■会場与件：通常規模会場

- 観客が観覧しやすい会場
- 観客と出演者の安全を確保できる場所
- 大型車が通行出来る搬入出経路の確保

■セレブレーション・会場イメージ（通常規模例）

- 実施場所：屋外の広場、公園、駐車場、展示会場など
- 収容規模：1,000名～3,000名程度（約3,000～9,000㎡程度）

組織委員会作成資料（東京都一部編集）

TOKYO 2020

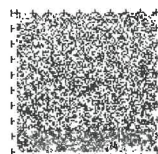
ボランティヤ

応募期間 | 2018年9月中旬～2018年12月上旬



さあ、世界を、もてなそう。

 東京都



TOKYO
2020

ボランティアについて

	都市ボランティア	大会ボランティア
運営主体	東京都 ^{※1}	組織委員会
活動内容	空港・主要駅・観光地、 競技会場の最寄駅周辺及び ライブサイト ^{※2} における 観光・交通案内、観客の案内など	競技会場、選手村等における 観客サービス、競技運営サポート、 メディアのサポートなど
人数	3万人	8万人
応募可能な方	2002年4月1日以前に生まれた方	
応募可能な方	<ul style="list-style-type: none"> ・日本国籍を有する方又は 日本に居住する資格を有する方 ・日本語による簡単な会話 (意思疎通)ができる方 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本国籍を有する方又は 日本に滞在する資格を有する方
活動日数等	5日以上 (休憩時間を含み1日当たり5時間程度)	10日以上を基本 (休憩、待機時間を含む1日8時間程度)
応募単位	個人又はグループ(4人以下)	個人

※1都市ボランティアについては、競技会場を有する都外自治体それぞれにおいても、募集・運営を行います。

※2ライブサイトとは、競技会場以外で東京2020大会を経験できるよう、大型スクリーン等を設置した競技中継、ステージイベント、競技体験等を実施する場所をいいます。

活動日数が重複しなければ、大会ボランティア・都市ボランティア両方への応募・参加も可能です。

活動にあたりお渡しするもの

- ユニフォーム一式
- 活動中の飲食
- ボランティア活動向けの保険
- 活動期間中における滞在先から活動場所までの交通費相当として一定程度

問合せ先

【都市ボランティアについて】 東京2020大会 都市ボランティア募集事務局

電話番号:ナビダイヤル0570-05-2020(IP電話・国際電話等の場合:050-3786-0320) 受付時間:平日9:00~18:00

メールアドレス:info2020@city-volunteer.tokyo

【大会ボランティアについて】 Tokyo2020大会ボランティア運営事務局

電話番号:ナビダイヤル 0570-08-2020 受付時間:平日9:00~17:45

メールアドレス:contact-center@volunteer.tokyo2020.jp

2年後の夏



東京都